

# 北社会ニュース オ4ク号

2008年9月16日

発行者：鈴木壮夫（北社会・世話人）

まずは一高OB前期高齢者の嘆きから。

今夏、昭和35年東北大学を卒業された方々12名にご来店いただきました。川越散策の後、私のそば屋で昼食を召し上がっていただきました。皆さんもう70才を超えておられます。その中に一高卒が二名おられました。ご挨拶に伺った私にその一高卒の方がしみじみと語りかけてまいりました。「ご主人とは今日初対面だが、当時が懐かしい。二高も一高も切磋琢磨して、ライバルだったし本当に良きパートナーだった。40万にも満たない地方都市で、あるレベルの高校が、而も公立二校が競いあっていたなんて夢のようだなあ……。二高は元気があっていいなあ。情けなくなるよ」と。仙台在住ではない私は本当のところは判りません。でも、「何でこんなに差がついてしまったのか」とあまりにもしんみりとした口調で嘆かれたので、私も返す言葉に困りました。高校受験時、先生から「ソーフ君、一高なんてとんでもない、二高だって合格するかどうか」と云われた上杉山中時代が忽然と蘇ってきました。半世紀、経ればいろいろあるなあ〜と。

次いで首都圏で高校校長を経験した従弟の最近の便りから。

最近、大学生も高校生も幼児化傾向が著しい上に学力もおぼつかなく、昔の大学生・高校生とは天と地の開きがあります。これは家庭が家庭として機能しなくなっていることから来る家庭の教育力の低下が根本の原因なのですが、そういう学生・生徒を相手に「何を・どのように」教えるかを考え、それを大学・高校としてどう「組織化」していくのかを企画するのが私の仕事になっています。大変ではありますが、長く教育業界に身を置いてきた人間の再就職の場としては充実した職場を与えられているのかな〜と思いつつ毎日を頑張っています。今一番欲しいものはこれらの仕事に挑戦し続けられる健康です。と。

(1) 本日、第266回 北社会

講師：庄司恒一氏（高22回） 仙台二高・校長

テーマ：“新生二高は、今”

今春、どなたからの情報かは忘れてしまったが後輩が二高の校長に発令されるとお聞きして、早速同窓会名簿を開いた。庄司恒一氏の同窓会会員番号は「202222」、新制高校は“2”高22回卒で“022”同期生のあいうえお順で“222”番目。二高の校長になられる宿命だと4月にも書きましたが半年経った今もそう思います。二高への評価、一般の高校生への評価、は冒頭の書き出し通りの一面があると思います。50年前、私達高11回生は高校三年生でした。勉強でも運動でも“県内一番”を成し遂げようと、先生達からハッパをかけられたし、生徒達も自負心を持ってそれなりに努力していたことを懐かしく思い出される。眼前に一高・東北・育英等があった。特に一高の存在は大きかった。一高には旧制高校の伝統が受け継がれているように感じられた。一高生は二高生に比べてオトナ、自主性に任せられると言い切った先生もいた。“新生二高”への仙台市民の期待は、それを受けとめている生徒達は、本日は素晴らしいテーマです。

(2) イートンカレッジ校との国際交流プログラム

8月22日～25日、イートン校が仙台を訪問、二高と国際交流を実施した。下記は庄司校長先生より届けられた8月24日の河北新報朝刊の記事です。

**英の名門校とサッカー交流**  
仙台二高、宮スタで

利府町の宮城スタジアムで23日、仙台二高サッカー部が、英国の名門パブリックスクール「イートン・カレッジ」チームと親善交流試合を行った。

両校の主力、控えの選手同士が1試合ずつ実施。どちらも熱戦が繰り広げられ、主力チームはイートン校が2-1で勝ちし、控えチームは1-1で引き分けた。選手たちの激しいぶつかり合いに、スタンドで観戦していた保護者々からも大きな拍手が送られた。

同スタジアムは、2002年にサッカーのワールドカップ（W杯）が開催された「聖地」。W杯の観戦でスタジアムに来たことがあるイートン校のオリバー・ハンフリーズ君（モ）は「思い出のある場所。夢のようだ」と興奮した様子で話した。

仙台二高の蔡亮成主将（二）も「気持ちよくプレイできた。体格が大きな英国の選手と戦うことでチームも成長できると思う」と力を込めた。

交流試合は、仙台二高の卒業生とイートン校の関係者が知り合いだったことがきっかけで実現した。イートン校の選手は11日に来日。既に愛知県や神奈川県の高校と試合をしており、26日に帰国するまでに計6校と戦う予定となっている。

**真剣勝負を展開する仙台二高とイートン・カレッジの選手たち**



(3) 来月以降の北社会

10月は15日（水）の在京同窓会に万難を排し、全てに優先してご参加いただくようお願い致します。同期の方々にもどうぞご参加を呼び掛けて下さい。北社会は下記の通り講師山本敏晴氏のご了解を得て11月に延ばしました。

11月25日（火） 講師：山本敏晴氏（高36回）

“地球温暖化、しずみゆく楽園ツバル”

TUVALUは地球の未来の姿そのものなのですと山本氏は語る。同氏が昨年訪れ、記録した映像とともに貴重な体験をお話しいたします。尚、この写真展は私のそば屋の3階のギャラリーで9月30日まで開催しております。

（追記）三連休の最後の日米証券大手リーマン・ブラザーズ破綻のニュースが流れた。年初から一人一人に小さな影響はあったと思う。知性活用の時が到来しましたね。